

## 平成18年の2階西病棟を振り返って

2階西病棟看護科長 森田 静江

亜急性期病床が廃止となり、8床が空白のまま眼科・胸部心臓血管外科・麻酔科でスタートしました。4月から12月までの胸部心臓血管外科入院患者は、262名・眼科171名で他は空床で患者様にご利用頂きました。空床利用の多い時は、7～8科の患者様が療養している時もありました。

循環器内科が当病棟からなくなり、新たに眼科が編成されましたが、私はもとより眼科を経験した看護師は少なく、眼科を経験した看護師の勤務異動にて助けて貰いました。また勉強会を行って患者様にご迷惑をかけないように準備をしました。2階西の看護師スタッフの誇れるところは、新しい事を始める時でも、初めから「やれない」とは、決して言いません。空床を受ける時も、自分の業務に合わせて、快く空床を受けてくれる看護師達です。

2階西病棟に行く廊下のお花のお世話を、前真嶋看護部長から譲受しましたが、最初は、はっきり言いまして、枯らしてしまったら大変と思い、負担だったのですが、患者様や家族は、「お花を見て癒されましたよ」と嬉しい言葉を頂きました。

お世話をしていなかった時は、気にも留めていなかったのですが、レモンが実りだしたら、「大きくなったわ」「食べられるのかな」等と思うようになり、楽しみになりました。患者様の中には、「朝見た時より、大きくなったな」と話される人もいました。結局11個の実をつけ食べられました。お花のお世話を、科長として学んだ事があります。スタッフや患者様への、「ちょっとした気づき」を大切に、関わっていかねばいけなと、改めて感じました。

### 平成18年度病棟目標について

- ◎ 質の良い看護が提供できる。
- ① ケーススタディーの継続。

② 研修・勉強会・研究を通して自己のレベルアップができ患者様に還元できる。

③ 接遇の推進。

◎ 業務改善ができる。

① 固定チームナーシングの評価継続。

② パスの作成・評価・推進

③ 看護記録の評価・継続

チームは2チームで編成し、PPC方式で部屋分けも17年度のまま継続しました。病棟委員会の構成では、昨年と違う方法を取り入れ、各チームから業務・教育に所属して、チーム会で活動内容を報告しました。また各自ケースをまとめ全員発表までに至っているところです。今年の場合の中には、自分の事についてケースをまとめたものもあり、自己の振り返りが良く現れており、共感する場面もありました。

研究は各チームで取り組み、チームの特殊性が出た研究のテーマでした。また研修で得た事を研究のために、勉強会を開催してくれました。

業務改善では、申し送りの短縮に向けて、データ調査・申し送りの基準作成を行い、以前より短縮する事ができました。パスの作成では見直しから、新たにパスを作成する事が出来、現在も使用出来ています。パスは業務改善にも繋がり、事故防止にも効果的だと思いました。

固定チームナーシングの評価継続では、リーダー会で役割等について見直しをしていきました。これからも患者様中心の、充実した達成感の持てる看護を提供したいと思います。

### 最後に

看護師・医師・看護補・薬剤師等2階西病棟に関わってくれた全ての皆様のおかげで、大きな医療事故を起こす事なくまた、患者様から、沢山の言葉や元気な姿を見せに来てくれた事に感謝します。